

おはよ



兵庫県障害児学校教職員組合(障教組)
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
兵庫県高等学校教職員組合会館内
TEL(078)341-6745

全職員版 NO.2 2024.05.25

東播磨地域の特別支援学校新設に関わる要求書提出！



5月17日に、いなみ野特別支援学校、東はりま特別支援学校の組合員二人が、県教育委員会特別支援教育課に対して要求書を提出しました。

両校の狭隘化対策として、加古川地域に新設校を設置することが決まりましたが、それに伴う通学区域再編案が3月末に突如発表されたことに対して、当事者である児童生徒、保護者、教職員から多くの不安や計画見直しを求める声が挙がりました。



在学中の児童生徒本人や保護者の希望を尊重すること、及び高等部は選考を経て入学しているため、開校から順次進行の入学にすること、自力通学生のためにも公共交通の手段整備をすること等を要望し、さらに、増改築される東はりまには運動場の拡張を、両校ともに教育活動を実施しながらの工事着工、となるため、児童生徒の安全確保のためにも加配教員の配置を、当事者である保護者、教職員の意見を計画に反映させることを要望しています。

その場では、県は「川西カリヨンの丘でも経過措置を取っているように、こちらでも取ります。」と断言されました。また、地域の教育環境を良くしようと新設校を建てるので、かえって教育環境が悪化することのないよう、保護者からの意見を鑑みながら検討していくとの返答を県教委から引き出すことができました。



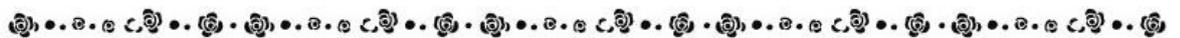
教育長と高教組との交渉 4月24日

障教組からは、①スクールバス民間委託反対、介助員の雇用確保 ②豊かなインクルーシブ教育を実現させるための協働 ③校務支援システムの負担 ④多忙化による現場の大変さを伝えました。

この懇談は、教育環境をよくし、教職員が、やりがいがあり働きやすい学校作りを共に進めるため、組合と行政の信頼関係を確認する取り組みの一つで、毎年、春に行っています。藤原俊平教育長からは、「信頼関係を大切に」「よき労使慣行を尊重し、相互理解を深め誠意をもって対応する」との確約を得ました。



TOPIC



中教審から「審議のまとめ」が出ました。教職調整額を4%から10%に引き上げるというものですが、その財源は？ 新たな職の創設とは？ 学級担任優遇や勤務評定の給料への反映って？・・・「問題が多すぎる」「現状の解決にはなっていない」と、批判の声が続出しています。これは他人事ではありません。自分たちのことです。これから教職に就こうとする人たちのことです。私たちは、教育行政の動向を常に注視し、おかしなことには声を上げていかねばなりません。

一体、どうなってんの!? 会計システム

今年度から会計のシステムが県主導で大幅に変更されました。しかし、実際には運用できない日々が続きました。ようやく使えるようになったようですが、やり方が難しく説明を聞いてもわからない。事務職員が実際にやって見せてくれても複雑で、これは教員がやる仕事なのかと? 声が上がっています。学校によっては、入出金は事務が行い、支出決定書を事務に提出するだけで済み、教員が立て替えることもないようですが、小・中・高のある大規模校においては会計担当になった教師が行わなくてはなりません。そのために、郵便局の個人通帳をわざわざ作る必要がありました。また、お金の移動にはいちいち手数料がかかるのも驚きです。これまでは銀行に行って出金すれば手数料はいらなかったのに。手数料負担を児童生徒に課するのにも気が引けるものです。

今回のシステム導入は横領や改ざん等の不正防止が大きな目的のようですが、システムが整わないうちに導入を進めてしまい学校が大混乱。これまでもコロナ下のベネッセクラッシー、校務支援システムなど、実際使えない、使えるようになるまで時間がかかるものを導入だけしていたずらに現場の残業時間を増やす...何度繰り返したら気が済むのでしょうか? 皆さんの学校ではどのような状況ですか? 是非、お聞かせください。



ちよっと一息!
書籍紹介の
コーナー



『みんなのねがい』 全国障害者問題研究会 全障研出版

「おはよ」No1 でも紹介した全障研出版の月間誌。

障害児教育の実践や教材のことについてはもちろん、障害者を取り巻く制度のことや保護者の立場からの「この子と歩む」や、当事者きょうだいからの「私ときょうだい」といった、とても勉強になるコラムが掲載されています。

また、毎月の特集では、4月号「ぼちぼちでダイジョウブ」、5月号「強度行動障害」、6月号「うそ。ウソ! ばれちゃった??」と、読み応えたっぷりの内容。

さらに、連載は兵庫の大先輩、原田文孝氏の「私に人生と言えるものがあるなら」で、障害の重い人たちとの実践を伝えてくださっています。



写真家の
土佐和史さんが
撮る表紙写真が
ものすごく
イイね!



『はっきよいどーん』 やまもとななこ 講談社



これは、すごすぎる! 絵本でありながら、おすもうさんのぶつかり合いの迫力がドドーン! と伝わってきます。子どもたちもくぎ付けになること間違いなしです。

『みんなのねがい』5月号には、この絵本を教材にした授業実践も紹介されています。

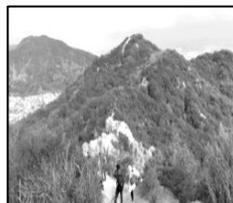
お知らせ

TEACHER'S CAFE
兵庫県障害児学校教職員組合

須磨アルプス ハイキング

日時: 6月8日(土) 9:45~14:30 ※雨天中止

集合場所: 山陽電鉄須磨浦公園駅の改札を出たところ
持ち物: お茶、タオル、お昼ご飯、レジャーシート、交通費、底が滑らない靴
参加費無料 申込〆切: 6月1日(土)
※詳細は障教組(題字連絡先もしくは組合員)まで。



参加申し込みはQRコードから、もしくはお近くの組合員まで!



組合員でない方も
Welcome!
是非ともご参加を!



あなたも組合に!
障教組に!

障教組より ~ みなさんをお願いしたい『3つのこと』

- 1 組合費を払って障教組の活動を支えてほしい!
- 2 情報を受け取り、自分で考え判断する力をつけてほしい!
- 3 仲間とつながり、職場や仕事で「おかしい」と思ったら声を上げてほしい!

元気に楽しく働き続けるために、あなたとあなたの目の前の子どもを守るために、組合に入ろう! 生きづらい時代をみんなでつながって歩んでいこう!

※ご加入の申し込みは、職場の組合員(『おはよ』を配っている人)や、高教組本部へ。

